

# 名戸ヶ谷ビオトープだより

第 91 号 2022 年秋号

2022 年 12 月 2 日発行

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行  
発行責任者：小笠原 智 Tel 080-2259-4415  
<http://nadogaya-biotope.com/>

## 子供たちの稲刈り



「どろんこになりながら、一生懸命稲を刈って楽しかった」

9月15日、名戸ヶ谷小学校の5年生が稲刈り体験をして、感想文を寄せてくれました。

[5年1組 K・H] 色々な工程の中で体験をさせていただき、これ以外にもたくさんの作業があると考えたら、少しの部分やっただけで、大変だったので、もっと大変なんだろうなと思いました。貴重な時間を頂いたことに、感謝をしたいし、これから食べるものの全てにも、感謝したいと思いました。

[5年1組 M・K] 米作りの大変さやかかる時間、育てている方々の苦勞がよくわかりました。また私達がお米を食べるために、名戸ヶ谷ビオトープを育てる会の方や地域の方々が協力してお米づくりをして、私達の食卓に届いていることを思うと、お米が食べられることの大切さを知りました

[5年2組 A・M] 今日ビオトープに行って、

お米ができるまでたくさんの工夫があるんだなと思いました。稲刈りをした後もたくさんの作業をやっていて、とても大変なんだなと思いました。そしてこれからは、いつもより感謝の気持ちを込めて食べたいなと強く思いました。安全のためにも色々な作業を行って、私達のために育ててくれているんだなと思いました。

[5年2組 A・Y] たくさん時間をかけて、自分たちのためにお米を作ってくれていました。ビオトープはいろいろな植物や生き物がいて、名戸ヶ谷ビオトープを育てる会の方々は自然を守りながらお米を作っていたということがわかりました。大変でも自分たちのために努力してくれていたことがわかりました。

## 会員による稲刈り



案山子も応援していました

田んぼは相変わらずぬかるんでいて「泥んこ稲刈り」です。田植えから4ヶ月後の9月10日、11日で会員の稲刈りを行いました。今年入会した会員にとっては初めての体験です。泥んこに足を捕られ前に進むだけでも大変でしたが、多くの会員の参加でうるち稲を刈り取りました。名戸小の稲刈り学習は15日

に3年ぶりに再開、晴天の中で賑やかに行なわれ、後日児童全員からお礼の便りが届きました。17日に残りのもち稲を刈り取って完了、パイプはざがけで天日干しました。お疲れ様でした。  
(小笠原 智)

## 脱穀作業も順調でした

稲刈り後の天候が安定せず、天日干しでの乾燥具合が心配でした。作業予定日前日が降雨で1日延期、10月16日に昼休みを挟んで一日作業で終わらせました。今年も足踏み脱穀機と影山(清)さんが入手して修繕した唐箕、モーター+脱穀機での作業は順調に進みまし

た。今年も藤心ライスセンターに粳摺り・精米をお願いしています。収穫量は昨年より若干多く、1反当たりは一般の田んぼの半分で約200kgでした。名戸小の学習は残念ですが、学校の行事都合で中止になりました。

(小笠原 智)

## 「ヒクイナ」の卵



先日の稲刈りのとき、稲の間から見つかった「鳥の卵の巣」について、鳥の博物館へ持ち込み、学芸員の方にみていたので、ご報告します。  
(高橋 紀子)

- ・このタマゴは「ヒクイナ」の卵である。
  - ・ノギスで計ってもらったら、たて 31mm、よこ 24mm。「クイナ」なら 36×27mm ほどのはず。
- 同じ「ツル目クイナ科」のオオバンやバンの卵ももっと大きい。
- ・「ヒクイナ」は、なかなか人目につかない。水辺の草むらの中をちょこちょこ移動する。夜活動し、鳴くこともある。
  - ・田んぼの昆虫、虫などを食べる。
  - ・「クイナ」も「ヒクイナ」も手賀沼周辺で見られるが、「ヒクイナ」のほうが珍しい。

卵を寄付してもらえるのは珍しいのでありがたい。

- ・「ヒクイナ」が繁殖しようとして来たことは、そこが繁殖のために整った良い環境であると言える。
- ・ビオトープにはヘビもウシガエルもいるが、もしヒナがかえったとしたら、無事に生きて大きくなったであろうか？
- ・生まれたてのヒナは、小さな「まっくろくろすけ」みたいで、とてもかわいいそうです。

# 月例活動状況のお知らせ（9月から10月まで）

※11月は例年通り月例活動は休み

## 9月17日（土）

残暑の厳しい中、当初予定していた B ゾーンの草刈りを変更し、残った「もち田4」の稲刈りを行ない無事に完了しました。台風 14 号到来予報で、影響の出る前に終えて良かったです。当日は秋の生きもの観察会で、一般市民は訪れず会員向けに松清さん、高橋さんから生きもの関係の説明をして終わりました。



稲刈り作業



稲をはざかけ



稲刈り完了後

## 10月16日（土）

当初 15 日予定日が朝方の雨で翌 16 日に延期となりました。作業は、はざがけの雀除けのネット外しから始まり稲束を下して脱穀場に運び入れ、そして機械脱穀と足踏み脱穀機で作業、唐箕の選別作業、藁の片付けでした。

最初にもちの脱穀を行ない 10 時半過ぎに終了、11 時過ぎから今度はうるちで 13 時には全てを終え、藤心ライスセンターへ運び精米依頼しました。多くの会員参加で手際よく無事に終えて、会員手作りの料理とおにぎりなどで歓談し、又、名戸ヶ谷小児童の稲刈り時の感想文集が届き会員皆が閲覧しました。  
(藤平 三郎)



小笠原さんより段取り説明



稲束の運搬



足踏み脱穀



機械脱穀



もみの選別



唐箕選別作業

# 新入会員紹介

## 河北さん、立松さん、遠藤さん、大木さん



### ■河北さん

河北俊一と申します。67歳です。

松戸浅間台の生涯大学園芸学科2年生で、既に会員の倉林さんにご紹介頂き、同じ班の仲間と一緒に参加させていただくことになりました。3年前までは花や野菜等の園芸には全く縁がなく、少しかじってみたいと思って園芸のクラスに入り体験しておりましたが、今回は地元で水田での稲作などの経験もできるということで、新しく長靴を買って臨んでおります。ズブ素ですので、どうかご指導よろしくお願いします。

なお、柏駅西口方面の篠籠田に住んで30数年経ちました。趣味は健康維持増進を兼ねて歩くことで、自宅から色々なコースを作り歩いており、柏の葉公園方面や流山おおたかの森方面、大堀川経由の北柏方面、南柏方面、免許センターなど気の向くままに歩いており、昨年は年間で1日平均2万歩を達成しましたが、

今年は膝を痛めないように少しセーブし、1.5万歩平均としております。参加初日の7/18も自宅から徒歩で新ルートを散歩し、作業を含め1.4万歩の歩数でした。

### ■立松さん

はじめまして、立松昇一と申します。南柏に住んで早くも40年ほどになりますが、家の周りの景色もだいぶ様変わりしました。家が多く建ち、緑が少なくなり、空き家も目立つようになりました。

名戸ヶ谷ビオトープは千葉県生涯大学校で同じ班の倉林さんから紹介されました。

もともと農村に育ったのですが、農作業は幼い頃、田植えや稲刈り、麦踏みなどわずかばかり手伝っただけでした。家では一時期養蚕や養鶏を営んでおり、馬や牛・羊・犬・猫もいました。炭焼きもしていました。屋根の隙

(次頁に続く)

# 新入会員紹介

(前頁から続き)

間に作ったスズメの巣を取りにあがったり、グミ採りに木に登ったり、近くの川で泳いだりしていました。鶏小屋に置いてあった陶器の卵（偽卵）を飲み込んでいた蛇、田圃の近くで捕まえて飼おうとしたがすぐに死んでしまった野兔、かすみ網にかかった鳥たち、湧き水の近くに飛ぶ真っ赤なトンボ、可憐に咲く笹百合、今でも記憶の片隅に残っています。小学校は歩いて4キロのところでしたが、いまは廃校になり、跡地には老人ホームが建っています。

「ふるさとは遠きにありておもうもの」を実感しています。

名戸ヶ谷は以前、「名戸ヶ谷湧水蛭を観る会」(?)に家族の者が行ったように記憶していません。周りは田圃がまだたくさんあった気がします。

柏にいて柏をほとんど知りませんが、コロナ禍で近くを散策するようになって新たな発見をしています。

## 12～2月の活動予定

- 12月●17日(土) 12月定例活動日・大掃除他
- 1月●21日(土) 1月定例活動日
- 28日(土) 第18回定期総会予定
- 2月●18日(土) 2月定例活動日
- 二ホンアカガエル卵塊調査

注) 詳細の日時・作業内容は担当幹事からメールにて連絡します。

皆様、ご指導のほどよろしくお願い致します。

### ■遠藤さん

倉林さんから名戸ヶ谷ビオトープのことを聞いて、一度米つくりを体験したいと思い入会させていただきました。米つくりなどしたことのないまるっきりの初心者ですので、一から学びつつ、自然豊かなビオトープでの作業を楽しみたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

### ■大木さん

8月に入会しました大木です、生涯大学園芸に現在在籍しています。その仲間か



ら話を聞きビオトープを知り、小さいときは田舎で田圃・畑を手伝っていたので、興味があり入会しました。また先日初めて参加した際、水田稲作でも刈り取りするまで水たまりがあるのには驚きで、収穫できることを楽しみにしております。

よろしくお願い致します。

### 名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車  
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物26種）

(2013年、年間を通じて観察した生きものの種類)